



平成30年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

■特別功労表彰 [町政の向上発展に貢献]

町選挙管理委員会委員として、4期16年の長きにわたり公正かつ適正な選挙の執行に貢献。平成11年9月からの1期4年間は委員長職務代理者、平成15年9月からの3期12年は委員長を務めた。平成29年秋の叙勲で旭日単光章を受章。

◎選挙管理委員会委員の期間 [4期16年]

平成11年9月29日～平成27年9月28日

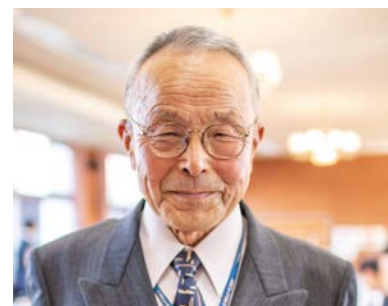
◎委員長を務めた期間 [3期12年]

平成15年9月29日～平成27年9月28日



前町選挙管理委員会委員長

薄 上 幸 一



元町消防団第二分団長
長谷川 恵 一

■特別功労表彰 [町政の向上発展に貢献]

町消防団員として、36年の長きにわたり消防人として活躍。平成6年7月からは分団長を務め、団員の指導に励むとともに近代的な消防技術の向上に尽力し、組織強化に貢献。平成29年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章。



◎消防団在職期間 [36年2カ月]

昭和35年5月2日～平成8年6月30日

◎分団長を務めた期間 [2年]

平成6年7月1日～平成8年6月30日

■功労表彰 [教育、文化、学術、スポーツ等の興隆に貢献]

剣道場・錬心館館長 故山 本 隆 夫

■善行表彰 [町政の向上発展に貢献]

高目自治区 西 田 晴 雄

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

堀越自治区長
中野自治区長
柴崎自治区長
橋立自治区長
道目自治区長
中町自治区長
宮野自治区長

[5年勤続]

齋 藤 俊 二
長谷川 正 美
佐 藤 清 治
佐 藤 健 一
井 上 國 男
岩 橋 義 平
五十嵐 政 夫

■納税貯蓄組合長永年勤続者

屋敷納税貯蓄組合長 藤 原 禮 昭

[20年勤続]

■納税貯蓄組合長永年勤続者

縄沢大畑納税貯蓄組合長 青 津 照 雄
弥栄納税貯蓄組合長 星 敦 志

[10年勤続]



▲20年勤続の感謝状を受け取る屋敷納税貯蓄組合長の藤原さん



▲表彰者・感謝状贈呈者の皆さん

式では、薄町長が「長年にわたるご功績とご労苦に、町民を代表して衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べた後、青木照夫町議会副議長が町議会を代表してあいさつしました。

続いて行われた表彰では、出席した受賞者の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その長年の功績をたたえました。

式の最後には、特別功労表彰を受賞した薄上幸一さんが「特別功労表彰の受賞は、家族や関係者をはじめ、支えてくれた皆さんのご指導と励ましの賜物。今後も、この受賞を励みに、微力ながら町の発展に尽くしていきたい」と受



▲第2部で講演した鶴谷先生

賞者を代表して謝辞を述べました。

式の後には、第2部の講演が開かれ、県立医科大学津医療センター附属病院副院長で会津医療センター循環器内科学講座教授の鶴谷善夫先生が「家庭血圧計による血圧管理方法について」と題して家庭での血圧測定の重要性を熱弁しました。身近な血圧の話とあって、聴講した皆さんは興味深そうに聞き入っていました。

町では、11月21日に本年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会を町公民館で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に尽くされた14人の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会 長年にわたる功績たたえ表彰



▲功労表彰を受け取る故・山本隆夫さんの子・裕司さん



▲善行表彰を受け取る西田晴雄さん



議案20件を審議、可決

12月町議会定例会報告

12月7日から13日までを会期に開かれた平成30年第7回町議会定例会では、条例の一部改正や平成30年度補正予算など、町政が当面する重要な議案20件が審議され、全て原案のとおり可決されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。



月に策定作業を開始して以来、町民の皆さん30人による「総合計画検討会議」と、町職員25人による「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携して検討作業を進めてきました。基本構想および前期基本計画からなる総合計画・公表案については、まちづくり基本条例に基づき、11月13日

町政の主要事項報告から

町総合計画の策定――

平成31年度を初年度とする次期総合計画は、平成30年1

案の議会上程に向け作業を進めていきます。

若者向け住宅整備事業――

若年層の移住・定住の促進を図るための「若者向け住宅整備」については、9月定例会で旧野沢保育所敷地を整備用地とするため既存建物の解体撤去に係る補正予算を議決いただき、その後、町で10月と11月に4町内と5町内の皆さんを対象とした説明会を開催したほか、敷地に隣接する住民の皆さんとの意見交換会を開催し、事業への協力をお願いしました。住民の皆さんからは、事業を進めるにあたって心配な点や不安な点などのご意見もありましたが、

施していた除排雪費用助成事業については、平成30年度から豪雪対策本部の設置の有無にかかわらず助成を実施することとしました。対象世帯は、75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯等で、自力での除排雪が困難な非課税世帯です。助成額は年間1万円で、申請により給付券を交付します。

また、除排雪を行う事業者については、町内の事業所や個人事業主等を募集し、登録していただきました。

このほか、本事業の対象世帯以外から「除排雪を依頼できる事業者を紹介してほしい」という声があったことから、登録事業者の中で公表を希望した事業者を町広報紙やホームページ、雪の相談窓口を通じて周知を図っていきます。

ふるさと応援寄付金事業――

本事業は、平成30年6月からインターネットサイト「ふるさとチョイス」を利用した取り組みを開始し、11月25日現在、132件、173万4000円の寄付をいただい

おり、平成29年度と比較すると87件、47万3000円の増となっています。返礼品は、食味値が85点以上の西会津げんき米を「西会津げんき米プレミアム」として付加価値を高めるなど、新米を中心に4品目に増やしました。また、パンフレットも一新し、在京西会津会の会員へのダイレクタメール送付なども行っています。今後もインターネットでの広告掲載や観光施設へのパンフレット配置などを行いながら、広く寄付を募っていきたく考えています。

青少年赤十字福島県指導者研修会・学校公開――

西会津小・中学校では、平成29年度、30年度の2年間、青少年赤十字研究推進校の指定を受け、「気づき、考え、実行する児童・生徒の育成」を研究主題とし、その実践に取り組んできました。平成30年10月19日に西会津小・中学校で開催された研修会・学校公開には、県内各地から約250人が集まり、小学校で

は公開授業を行い、中学校では地域学習と町内でのボランティア活動の取り組みの成果を発表しました。参加した皆さんより、授業内容やボランティア活動の取り組みに関して高い評価をいただいたことから、町では今後も地域と学校が連携を深めるさまざまな活動に取り組んでいきます。



そうした部分への対応についても一つ一つ説明し、ご理解をいただいたところです。

今後は、来年度の住宅整備に向け、可能な限り住民の皆さんの意見を反映しながら作業を進めていきたいと考えています。

渇水対策の状況――

平成30年夏の少雨・渇水等による農作物等への被害を防止するために、各生産者が取り組んだ揚水等にかかった経費に対する支援事業については、個人農家から70件、14万7000円、水・土・里環境委員会に水利組合などの団体から7件、50万1000円の申請があり、全件の交付決定を10月12日までに完了したことから、同日付けで「対策本部」を解散しました。

水稲の作況と

利子補給事業――

本町の会津よつば農協への米の出荷状況を見ると、一等米比率は10月22日現在で98・6割となっていますが、集荷

率は当初契約数量に対して8割程度と例年を大きく下回っており、夏の少雨・渇水等による未熟米の増加によるものと考えられます。当初予定していた数量を出荷できない農家には、生産資材等の経費を精算するために金融機関からの借り入れが必要な生産者もいることから、県と会津よつ

ば農協では本年の高温・少雨等に係る災害資金を創設しました。町としては、農業経営の維持安定を図るための緊急的な支援として、これら融資資金の低利化を図る「利子補給事業」を実施することとしました。

今冬の除排雪対策の拡充――

昨年度は6人体制で19世帯の支援を行っていた雪処理支援隊は、支援対象世帯が平成30年度の調査で30世帯となる見込みであることから、3人増員の9人体制で支援を行います。また、平成29年度までは豪雪対策本部が設置された年に限り実（へ次頁上へ）

可決された議案

◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議会の議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正
おおよび県人事委員会の勧告に準じ、期末手当の支給月数を0・05月分引き上げるなどの改正

◆職員の給与に関する条例の一部改正 人事委員会の勧告に準じ、職員の給料を平均0・12割引き上げるとともに勤勉手当の支給月数を0・05月分引き上げるなどの改正

◆町税条例の一部改正
地方税法の改正に伴う町民税の非課税の範囲等に係る条例改正

◆平成30年度一般会計補正予算（第4次）
燃料費や修繕費の増加に伴う指定管理委託料の増額や介護給付費の増加見込みによる介護保険特別会計繰出金の増額など、3085万1000円の増額

◆平成30年度特別会計補正予算

◆公社造林契約の一部変更
本町財産区の廃止に伴い、取得した公社造林の収益分収割合を変更

◆教育委員会教育長の任命への同意
江添信城さんを任命（再任）

◆農業委員会委員の選任への同意
岩原稔さん（7町内）を選任

◆福島県市町村総合事務組合規約の変更
地方自治法の改正に伴い、同組合の監査委員の選任方法等について規約を一部変更

◆町議会議員定数条例の一部改正
町議会議員の定数を14人から12人に改正「議会提案」

◆町議会委員会条例の一部改正
議員定数減に伴う委員定数の変更および広報広聴常任委員会を新たに設置するための改正「議会提案」

◆町議会会議規則の一部変更
議員が出産する場合の欠席届について新たに規定したほか、議案および修正の動議の提出要件を変更「議会提案」



本町の魅力を広く発信し、さまざまな情報を収集

「西会津応援大使」を町外に住む5人に委嘱



▲写真後列左から田崎さん、佐原さん、新田さん、前列左から安藤さん、薄町長（齋藤さんは欠席）

町では、町の豊かな自然や歴史、文化、芸術、観光等の情報を広く発信するとともに、町のイメージ向上と観光の活性化を図り、また、企業誘致に関する情報を得るため、11月16日、町にゆかりのある町外在住者5人を「西会津応援大使」に委嘱しました。

◆西会津応援大使

新 田 興 助さん（神奈川県横浜市鶴見区）

齋 藤 平 二さん（東京都江東区）

田 崎 公 司さん（兵庫県尼崎市）

安 藤 壽美子さん（東京都世田谷区）

佐 原 勇^{たけし}さん（東京都新宿区）

<問い合わせ先>

商工観光課・商工観光係 ☎ 45—2213

秋の叙勲の受章を薄町長に報告

田崎敬修さんが瑞宝双光章を受章

平成30年の秋の叙勲で瑞宝双光章を受章した田崎敬修さんが11月20日に町役場を訪れ、薄友喜町長に受章を報告しました。薄町長は受賞を祝福し、田崎さんは伝達式や伝達式後の皇居御参内の様子などを話しました。田崎さんは、昭和47年に県教諭となつて以来38年間、教師として子どもたちの自立心や主体性を養う教育に力を注ぎ、旧尾野小や喜多方一小などの校長を歴任しました。そうした功績が認められ、このたびの受章となりました。田崎さんは現在、西会津町観光ガイドの会の会長を務めるほか、子どもたちに地元の歴史や勉強などを教える活動も行っています。



長年にわたる保護司の活動が評価

佐藤洋子さん、矢部幸彦さんが法務大臣表彰受賞

11月27日、保護司の佐藤洋子さん（写真中央）と矢部幸彦さん（写真右）が町役場を訪れ、法務大臣表彰の受賞を薄町長に報告しました。薄町長は受賞を祝福するとともに、「ここからをまた新たなスタートとして、ぜひ今後も更生保護活動にお力添えをお願いします」と協力を求めました。

法務大臣表彰は、佐藤さん、矢部さんのそれぞれ20年以上にわたる更生保護活動と犯罪予防に尽くした功績が評価されたもので、2人は「受賞を励みにこれからも保護司として社会に尽くしていきたい」と話しました。



交通安全教育活動、広報活動などに従事

交通教育専門員に新澤光男さん



町では、交通安全教育活動、広報活動などを行う交通教育専門員に新澤光男さんを再任しました。12月3日に町役場で行った辞令交付式では、薄町長が「街頭啓発は暑い日も、寒い日も、雪の日もあり、大変な職務。健康に留意し、事故のない明るい社会をつくるため、ご協力をお願いします」と訓示を述べました。新澤さんの任期は平成30年12月1日から3年間です。

今年も雪処理支援隊を設置

自力での雪処理が困難な家庭を支援



町では、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援も難しい高齢者世帯などを支援するため、今冬も雪処理支援隊を設置しました。12月3日に町役場で行った辞令交付式では、薄町長が隊員に辞令書を手渡し、「町民の皆さんの目線に立った作業を心掛け、体調は万全に、事故のないよう活動をお願いします」とあいさつしました。雪処理支援隊は、今年の3月末まで対象者宅を見守りながら、除排雪の支援を行います。写真＝前列左から矢部丈夫さん、平野眞さん、渡部秀満さん、後列左から横山範之さん、佐藤誠一さん、齋藤英行さん、五十嵐勝彦さん

宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で防災備品を整備

中野区自主防災会では、本年度に一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、発電機やチェーンソーなどの防災備品の整備を行いました。

コミュニティ助成事業は、地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。

